

～防犯教室が実施されました～

6月7日（金）本校体育館にて防犯教室が実施されました。白山警察署の警察官2人が来校され、過去の犯罪の事例や防犯をする上での重要事項について話をされました。また、実際に不審者に遭遇したときの護身術なども実演され、生徒たちは真剣なまなざしで話を聞いていました。今後、犯罪に遭遇しないためにも、防犯教室での話を心に留めておいてほしいと思います。

※防犯教室での様子



【生徒の感想】

- ・最初は自分と犯罪はほとんど関係ないし、気を付けていたら巻き込まれる心配はないと思っていたが、話を聞いて、身近な場面でも普通に起こってしまうということが分かりました。もし巻き込まれたらと思うと怖いし、自分の力だけではどうにもならないと思いました。よって今後はさらに気を付けて生活していきたいです。（1組）
- ・私は2つのことが心に残りました。1つ目は思春期の時期は犯罪に巻き込まれるとそのことがトラウマになり、消えなくなること。2つ目は護身術のことで、実際に見たり、体験したりすることで様々なことが学べたためになりました。（2組）
- ・防犯教室の授業を受けて、過去の犯罪の事例を決して他人事だと受け止めず、身近で起きることだと考えてしっかりと自分を守っていきたくと思いました。特に、自分がいつ不審者と遭ってしまってもおかしくないの、そうなったときのために今のうちに護身術や「いかのおすし」を身につけておかなくはいけないと思いました。（3組）
- ・改めて普段の生活の中で起きるかもしれない危険なことを身近に感じました。事故や事件を他人事と聞き流すのではなく、自分もこうなるかもしれないと頭の中に入れておきたいと思います。もし、不審者に遭遇したら、今日の話や護身術を思い出し、活用したいと思いました。（4組）
- ・話を聞いて犯罪が出にくい町にしようと思いました。あいさつはただの交流に過ぎないと思っていたけど、あいさつをするだけで犯罪を防げるのだと知りました。あいさつをして活気のある町にするために自分からも少しずつ努力していこうと思います。（5組）
- ・ほとんどの人は善良だけど、中には悪い大人もいるから言葉に騙されないようにするのと、何かあったときにはすぐに家族や警察に相談することが大切だと思いました。（6組）
- ・色々な手口で犯罪をする人が悪いのはもちろんだが、自分自身も気をつけないといけないと考えました。これからは今よりもっと周りに注意し、自分がとるべき行動を見直す必要があると思いました。（7組）